

日本植物病理学会九州部会講演会プログラム

日 時:平成25年11月13日(水曜日) 9時~17時20分
場所・会場:KKRホテル熊本 1階 有明・不知火
講演時間12分, 質疑3分: 10分で予鈴, 12分で本鈴, 15分で終鈴

- | 開始時刻 | 演題ならびに演者・座長 |
|---------|---|
| 9:00 | 開会・事務連絡
<p style="text-align: right;"><座長 菅 康弘(長崎病害虫防除所)></p> |
| 1 9:05 | <i>Trichoderma asperellum</i> CT-2株を処理した緑肥種子の播種・栽培・すきこみによるジャガイモそうか病の防除
○大城 篤(沖縄農研セ) |
| 2 9:20 | オクラ葉枯細菌病類似病斑からの <i>Pseudomonas syringae</i> の分離
○富瀨 毅・樋口康一・田布尾尚子・西 八束(鹿児島農総セ) |
| 3 9:35 | 軟腐症状を呈するホオズキから分離された <i>Erwinia</i> 属細菌2系統の分類学的位置づけ
○柳屋佑樹・古屋成人・黒瀬大介 ¹⁾ ・稲田 稔 ²⁾ ・山口純一郎 ³⁾ ・竹下 稔・土屋健一
(九大院農・ ¹⁾ 農環研・ ²⁾ 佐賀農業セ・ ³⁾ 佐賀農技防) |
| 4 9:50 | Characterization of <i>Ralstonia solanacearum</i> strains from Myanmar
○Kyaw, H. W. W., Aye, S. S. ¹⁾ , Furuya, N., Matsumoto M., Takeshita, M., and Tsuchiya, K.
(Grad. Sch. Agri. Kyushu Univ., ¹⁾ Yezin Agri. Univ.) |
| 5 10:05 | トマト斑点細菌病菌UPB139株由来 β -アラビノオリゴ糖鎖分解酵素群のクローニングと機能解析
○瀧脇玉央・中村正幸・藤田清貴・岩井 久(鹿児島大農)
<p style="text-align: right;"><座長 吉田政博(東海大学)></p> |
| 6 10:20 | 根深ネギで発生する軟腐病および白絹病のネダニ類2種に対する誘引性の比較
○祖田嘉教・小野元治(大分農林水研) |
| 7 10:35 | チャ育成系統の主要病害に対する耐病性の評価
○吉田克志(野茶研・枕崎)
<p style="text-align: right;"><座長 田代暢哉(佐賀上場営農セ)></p> |
| 10:55 | 特別講演
良質な科学的根拠創出のための現地研究(On-farm research)について
川口 章(岡山農研) |
| 11:55 | 昼休み
幹事会(3階 金峰) |
| 13:10 | ビデオワークショップ
罹病植物からの病原菌分離のコツ 一糸状菌および細菌一
松崎正文(日本農薬(株))
<p style="text-align: right;"><座長 挟間 渉(住友化学)></p> |
| 8 13:50 | 白かび病菌S31株由来ポリガラクトソナーゼS31PG1の病原性に関わるタンパク質立体構造の解析
○松本大亮・中村正幸・岩井 久(鹿児島大農)
<p style="text-align: right;"><座長 吉田政博(東海大学)></p> |
| 9 14:05 | サンセベリアにおける <i>Colletotrichum sansevieriae</i> および <i>C. gloeosporioides</i> の混合感染について
○小野山佳佑・中村正幸 ¹⁾ ・岩井 久 ¹⁾ (鹿児島大院連農・ ¹⁾ 鹿児島大農) |

<座長 梶谷裕二(福岡病害虫防除所)>

- 10 14:20 佐賀県におけるナシ炭疽病のストロビルリン系薬剤に対する感受性の低下
○野口真弓・井手洋一¹⁾・白石祥子・川内孝太・口木文孝(佐賀果樹試¹⁾・佐賀農技防)
- 11 14:35 アシベンゾラルSメチル剤の育苗時親株かん注処理によるイチゴ炭疽病に対する防除効果
○樋口康一(鹿児島農総セ)
- 12 14:50 ネギ萎凋病菌の市販種子からの検出とベノミル水和剤による種子消毒の防除効果
○稲田 稔(佐賀農業セ)
- 13 15:05 タマネギ乾腐病の発病抑制を目的としたセル成型トレイ苗に対するベノミル水和剤の効果的処理法
○正司和之・善 正二郎¹⁾・田代暢哉 (佐賀上場営農セ¹⁾・佐賀県園芸課)
- 14 15:20 ショウガ根茎腐敗病に対する予熱処理とダゾメット粉粒剤を組み合わせた防除効果
○森山美穂・行徳 裕¹⁾・古家 忠(熊本農研セ¹⁾・熊本県農林水産部)
- 15 15:35 カンキツ黒点病菌 *Diaporthe citri* によるハウスミカン結果枝(緑枝)の枯死症状(病徴追加)
○田代暢哉・正司和之・山口正洋(佐賀上場営農セ)

<座長 竹下 稔(九州大学)>

- 16 15:50 SDV(温州萎縮ウイルス)クロマトを利用したカンキツ果実における果実部位別およびSDVグループからのウイルス検出について
○草野成夫・村本晃司・牛島孝策(福岡農総試果樹苗木)
- 17 16:05 トウガラシマイルドモットルウイルス強毒株と弱毒株(AVP08)を接種したピーマン栽培圃場の土壌中のPMMoV濃度の比較
○田布尾尚子・西 八束・竹牟禮穰・小粥理絵¹⁾・津田新哉¹⁾(鹿児島農総セ¹⁾・中央農研)
- 18 16:20 スマトラ島におけるバナナバンチートップウイルスのDNA-U3の解析
○千秋祐也・Nasril Nasir¹⁾・Henny Herwina¹⁾・Jumjunidang²⁾・園田亜矢佳³⁾・福元智博⁴⁾・中村正幸³⁾・岩井 久³⁾
(鹿児島大院連農¹⁾・Andalas Univ.²⁾・ITFRI³⁾・鹿児島大農⁴⁾・鹿児島農総セ果樹)
- 19 16:35 Tm-2^a遺伝子を有するトマトに発生したトマトモザイクウイルス(ToMV)
○大貴正俊・河野悦子¹⁾・酒井淳一(九州沖縄農研¹⁾・福岡防除所)
- 20 16:50 日本の野生ノビルに感染していた *Scallion mosaic virus* の初報告について
○村岡聡史・八坂亮祐・大島一里(佐賀大農)
- 21 17:05 九州地方で発生が認められた *Narcissus late season yellows virus* と *Narcissus degeneration virus* について
○本田裕貴・富永 薫・野見山玲衣・村岡聡史・松本康佑・里本裕規・八坂亮祐・大島一里(佐賀大農)

部会総会

日 時:平成25年11月14日(木曜日) 9時~9時30分

場所・会場:KKRホテル熊本 1階 有明・不知火

第37回シンポジウムプログラム

日 時:平成25年11月14日(木曜日) 9時30分~11時30分

場所・会場:KKRホテル熊本 1階 有明・不知火

開始時刻	演題ならびに演者・座長
9:30	開会・事務連絡 <座長 岩井 久(鹿児島大学)>
1 9:35	佐賀県のタマネギおよびトルコギキョウにおけるアイリス黄斑ウイルス(IYSV)の発生と防除について 善 正二郎(佐賀県園芸課) <座長 富濱 毅(鹿児島農総セ)>
2 10:25	病害診断の現場から 宮崎県での事例 楢間義幸(宮崎県総合農業試験場) <座長 森山美穂(熊本農研セ)>
3 10:55	佐賀県での事例 成富毅誌(佐賀県農業技術防除センター)
11:25	閉会